

PFU 環境行動計画

第10次環境行動計画(2022年度～2024年度)の状況は、以下の通りです。

項目	内容	2022年度実績	2023年度計画	2024年度計画		
Green Solution	環境配慮型製品の継続的な創出と提供 	エネルギー効率トップレベル製品の創出	スキャナー製品	国際エネルギースターPro Ver3.X 適合製品 100%(2機種)	国際エネルギースターPro Ver3.X 適合製品 100%	国際エネルギースターPro Ver3.X 適合製品 100%
			組込みコンピューティング製品	製品環境性能指数 4.40 顧客先環境貢献 7,803t-CO ₂	製品環境性能指数 4.30 以下 顧客先環境貢献 8,855t-CO ₂ 以上	製品環境性能指数 4.13 以下 顧客先環境貢献 10,052t-CO ₂ 以上
			情報 KIOSK 端末	製品環境性能指数 15.74	製品環境性能指数 14.50 以下	製品環境性能指数 12.00 以下
				顧客先環境貢献 1,765t-CO ₂	顧客先環境貢献 1,318t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 876t-CO ₂ 以上
			ネットワークアライアンス製品	製品環境性能指数 0.545	製品環境性能指数 0.519 以下	製品環境性能指数 0.494 以下
				顧客先環境貢献 274.8t-CO ₂	顧客先環境貢献 274.2t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 276.5t-CO ₂ 以上
			セキュリティ製品	製品環境性能指数 0.264	製品環境性能指数 0.251 以下	製品環境性能指数 0.238 以下
				顧客先環境貢献 631.7t-CO ₂	顧客先環境貢献 668t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 709t-CO ₂ 以上
	ソリューション	顧客先環境貢献 6,736t-CO ₂	顧客先環境貢献 4,706t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 4,815t-CO ₂ 以上		
	環境ラベル適合 (米国 EPEAT)	スキャナー製品	米国 EPEAT 維持・拡大 適合製品 100%(2機種)	米国 EPEAT 維持・拡大 適合製品 100%	米国 EPEAT 維持・拡大 適合製品 100%	
Green Process	2	環境配慮ソリューション・サービスの推進 	環境に配慮したソリューション、サービスの提供拡大による顧客先業務における環境負荷低減	9部門/9部門	各部門1項目以上 (対象全部門)	各部門1項目以上 (対象全部門)
Green Process	3	グリーン調達 	積極的に環境配慮に取り組む取引先からの調達推進	サプライチェーン上流におけるCO ₂ 排出量削減、及び水資源安全の取り組みを推進: 取引先の活動状況把握100%(18社)	サプライチェーン上流におけるCO ₂ 排出量削減、及び水資源安全の取り組みを推進: 取引先の活動状況把握100%	サプライチェーン上流におけるCO ₂ 排出量削減、及び水資源安全の取り組みを推進: 取引先の活動状況把握100%
Green Process	4	品質向上、業務効率化 	業務改善で環境負荷低減	24部門/25部門	各部門1項目以上 (対象全部門)	各部門1項目以上 (対象全部門)
Green Process	5	地球温暖化対策の推進 	事業拠点のGHG 排出量を削減	GHG 排出量: 4,930 t-CO ₂ (2013年度比:40%削減)	GHG 排出量: 4,988 t-CO ₂ 以下 (2013年度比:40%削減)	GHG 排出量: 4,685 t-CO ₂ 以下 (2013年度比:42%削減)
Green Mind	6	環境行動文化の浸透 	環境社会貢献活動、生物多様性保全活動、環境運用改善	社会貢献活動推進 (21件)	社会貢献活動の推進 (23件)	社会貢献活動の推進 (24件)
				環境情報の共有・発信・環境活動運用改善の推進(14件)	環境情報の共有・発信・環境活動運用改善の推進(14件)	環境情報の共有・発信・環境活動運用改善の推進(15件)
				リコー-ISO14001 統合認証への移行完了	マネジメントシステム継続的改善	マネジメントシステム継続的改善

2022 年度活動結果

2022 年度は、第 10 次環境行動計画(2022-2024)の 1 年目として、18 の環境目標に取り組み 17 項目で目標を達成しました。

○：目標達成 ×：目標未達成

項目	内容	2022 年度				
		目標	実績	評価		
Green Solution	環境配慮型製品の継続的な創出と提供 	エネルギー効率トップレベル製品の創出	スキャナー製品	国際エネルギースターPro Ver3.X 適合製品 100%(2 機種)	国際エネルギースターPro Ver3.X 適合製品 100%(2 機種)	○
			組込みコンピューティング製品	製品環境性能指数 4.48 以下	製品環境性能指数 4.40	○
				顧客先環境貢献 7,800t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 7,803t-CO ₂	○
			情報 KIOSK 端末	製品環境性能指数 15.80 以下	製品環境性能指数 15.74	○
				顧客先環境貢献 1,437t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 1,765t-CO ₂	○
			ネットワークアプリケーション製品	製品環境性能指数 0.546 以下	製品環境性能指数 0.545	○
				顧客先環境貢献 271.9t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 274.8t-CO ₂	○
			セキュリティ製品	製品環境性能指数 0.264 以下	製品環境性能指数 0.264	○
	顧客先環境貢献 630t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 631.7t-CO ₂		○		
	ソリューション	顧客先環境貢献 4,564t-CO ₂ 以上	顧客先環境貢献 6,736t-CO ₂	○		
	環境ラベル適合(米国 EPEAT)	スキャナー製品	米国 EPEAT 維持・拡大 適合製品 100%(2 機種)	米国 EPEAT 維持・拡大 適合製品 100%(2 機種)	○	
2	環境配慮ソリューション・サービスの推進 	環境に配慮したソリューション、サービスの提供拡大による顧客先業務における環境負荷低減	各部門 1 項目以上 (対象 9 部門)	各部門 1 項目以上 (9 部門全て目標達成)	○	
3	グリーン調達 の推進 	積極的に環境配慮に取り組む取引先からの調達推進	サプライチェーン上流における CO ₂ 排出量削減、及び水資源保全の取り組みを推進: 取引先の活動状況把握 100%(18 社)	サプライチェーン上流における CO ₂ 排出量削減、及び水資源保全の取り組みを推進: 取引先の活動状況把握 100%(18 社)	○	
Green Process	4	品質向上、業務効率化 	業務改善で環境負荷低減	各部門 1 項目以上 (対象 25 部門)	各部門 1 項目以上 (25 部門中 24 部門にて目標達成)	×
	5	地球温暖化対策の推進 	事業拠点の GHG 排出量を削減	GHG 排出量: 5,901 t-CO ₂ 以下 (2013 年度比:38%削減)	GHG 排出量: 4,930 t-CO ₂ (2013 年度比:40%削減)	○
Green Mind	6	環境行動文化の浸透 	環境社会貢献活動、生物多様性保全活動、環境運用改善	社会貢献活動推進 (21 件)	社会貢献活動の推進 (21 件)	○
				環境情報の共有・発信・環境活動運用改善の推進 (14 件)	環境情報の共有・発信・環境活動運用改善の推進 (14 件)	○
				マネジメントシステム継続的改善	リコ-ISO14001 統合認証への移行完了	○

環境配慮型製品

当社は、「省エネルギー」、「3R 設計(注 1)」、「含有化学物質」などに対応した「環境配慮型製品」を開発し、製品のライフサイクル全体での環境負荷低減を目指しています。2022 年度は、環境性能の優れた製品をより多く提供することでお客様先での環境負荷低減に貢献するため、すべての事業部門において製品・ソリューション・サービスの環境性能向上を環境目標に設定して活動に取り組み、環境に配慮した製品開発・提供を推進しました。

2022 年度の主な成果

エネルギー 効率 トップレベル 製品の創出	スキャナー 製品	国際エネルギースタープログラム Ver3.0 を、新規開発機種で計画通り 2 機種適合しました。
	組込コンピューティング 製品	独自に定義した環境性能指数を改善することで、製品使用による環境貢献に取り組みました。 また、製品導入によるお客様先での環境負荷低減に取り組みました。
	情報 KIOSK 端末	独自に定義した環境性能指数を改善することで、製品使用による環境貢献に取り組みました。 また、製品導入によるお客様先での環境負荷低減に取り組みました。
	セキュリティ 製品	独自に定義した環境性能指数を改善することで、製品使用による環境貢献に取り組みました。 また、製品導入によるお客様先での環境負荷低減に取り組みました。
	ソリューション	ソリューション導入によるお客様先での環境負荷低減に取り組みました。
	カスタムサービス	提供サービスによるお客様先での環境負荷低減に取り組みました。
環境 ラベル 適合	スキャナー 製品	米国政府系機関を中心にグリーン購入促進制度で採用されている電子製品環境評価システム EPEAT(Electronic Product Environmental Assessment Tool) を、北米展開予定の新機種について計画通り 2 機種、取得しました。
		エコマーク商品として、3R 設計や省エネ性能など環境配慮への取り組みが認められ、2 製品が認定されました。

(注 1)3R 設計 : Reduce(発生抑制)・Reuse(再使用)・Recycle(再資源化)を考慮した設計

2022 年度の主な環境配慮型新製品

省エネルギー、3 R 設計によりグリーン購入法に適合し、さらに各種環境規格に適合した製品を提供してお客様の業務における環境負荷軽減に貢献します。スキャナー製品の環境規格適合状況は、当社の公開 HP で公開しています。



fi-8040



fi-70F

- ・グリーン購入法に適合
- ・国際エネルギースタープログラム Ver.3.0 適合
スリープ時消費電力 :
fi-8040 1.9W 以下
fi-70F 2.0W 以下
- ・エコマーク商品
fi-8040 22 155 056
fi-70F 22 155 039



- ・化学物質規制(RoHS 指令等)に対応

環境配慮ソリューション・サービス

「業務効率化」「物の消費の削減」「物の移動の削減」「スペースの有効活用」により、お客様業務における省エネ、ペーパーレスなどの環境負荷低減に貢献する環境配慮ソリューション、サービスを提供しています。2022 年度は、各種ソリューション、サービスの開発・出荷やスキャナーを活用したソリューション、サービスの提供拡大など、お客様の業務における環境負荷低減に寄与する活動を推進しました。

2022 年度の主な成果

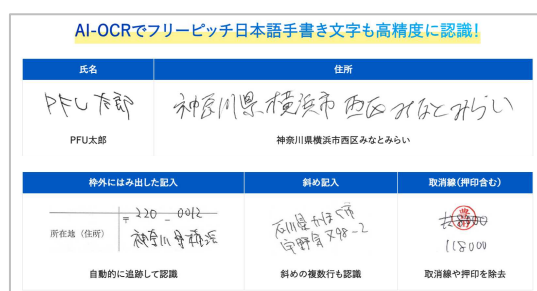
	活動内容	製品
環境に配慮したソリューション、サービスを提供拡大し、顧客先業務における環境負荷低減に寄与	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮ソリューションの開発、出荷 ・スキャナーを活用したソリューション・サービスの提供拡大 ・仮想化、クラウド商談推進、など 	<ul style="list-style-type: none"> ・DynaEye 11 ・BIP Smart ・PaperStream Capture

■ 帳票情報の電子化（読取精度の大幅向上）

まだ多くのお客様、特に自治体や官公庁の現場では紙を使った業務が残っており、申請書類のデータ入力に多くの時間を費やしています。

イメージスキャナーと OCR ソフトウェア「DynaEye」の組合せ適用により申請書類のデータ入力時間削減を実現しています。

また、最新版の「DynaEye 11」では、AI-OCR（AI 日本語手書き OCR）の読取精度が大幅に向上しました（認識精度：96.1% →99.2%（弊社基準帳票にて測定））。手書きの紙帳票を取り扱うことが多い自治体の現場で多く見られる斜めに傾いた記入、書き損じによる取り消し線に加え、これまで認識が困難だった枠外にはみ出た記入に対しても、高精度な読取が可能になりました。



グリーン調達

環境負荷の少ない製品を提供するため、お取引先への基本的な要件をまとめた「PFU グループグリーン調達基準」を定め、お取引先とともに活動を推進しています。

2022 年度は、対象取引先に対してサプライチェーン上流における CO₂ 削減、及び水資源保全の取り組みを推進し、新規取引先の活動状況を把握しました。



2022 年度の主な成果

積極的に環境配慮に取り組む 取引先からの調達を推進	サプライチェーン上流への CO ₂ 削減、及び水資源保全の取り組みを推進 新規取引先 18 社に対して把握(100%)
------------------------------	---

品質向上、業務効率化

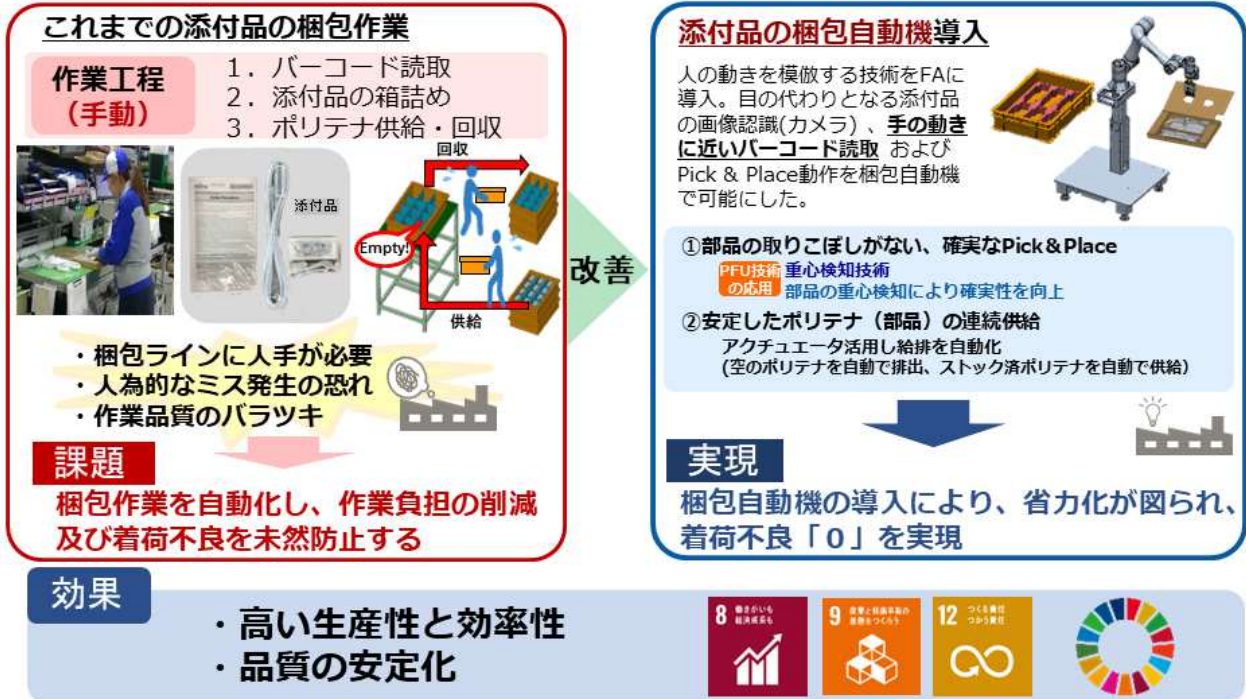
社内業務においても、IT を活用した業務効率化や品質向上による環境負荷低減を推進し、本業に傾注する環境活動を推進しています。

2022 年度は、全部門で本業における品質向上・業務効率化を推進しました。

2022 年度の改善事例

■ 梱包自動機導入による生産強化と品質向上

梱包作業工程での生産強化と品質向上のため、添付品の梱包自動機を導入し、**生産性や品質向上に取り組んでいます。**



地球温暖化対策

地球温暖化防止のためエネルギー消費量(注 2)を削減する省エネ活動に取り組んでいます。

2022年度は、空調設備用静電気除去シートの設置や窓の二重化などによる省エネ活動、再生可能エネルギーの活用拡大などに取り組みました。

(注 2)エネルギー消費量：購入電力、ガス、熱の使用量をCO₂換算した量(t-CO₂)

エネルギー消費量 (CO₂換算値：t-CO₂)

エネルギー消費量	2022年度目標	2022年度実績
	5,091 t-CO ₂ 以下	4,930 t-CO ₂

■空調設備用静電気除去シート設置による省エネ

ProDeSセンターでは、空調室内機に静電気除去シートを設置し、熱交換効率を向上させて省エネを実現しました。

省エネ実績

設置場所	ProDeSセンター
設置時期	2022年4月
CO ₂ 削減量	16.1 t-CO ₂



■窓の二重化による省エネ

本社では、一部の窓を二重化（二重サッシ）し、断熱効果を向上させて省エネを実現しました。窓の二重化は遮音や結露対策にも効果を発揮しています。

省エネ実績

設置場所	本社
設置時期	2023年1月
CO ₂ 削減量	5.0 t-CO ₂



環境行動文化

グループ社員が事業所周辺地域・自治体との協定締結・連携により、環境・社会貢献活動、生物多様性保全活動など豊かな自然を守る活動を推進しています。2022年度は、コロナ禍の行動制限により開催中止となっていた活動が順次再開され、河北潟干拓地の美化活動、ハマロード・サポーター活動に加えて、3年ぶりにかほく市海浜一斉清掃にも参加しました。

主な実施内容

項	活動内容	実施	実施事業所/地区
1	「緑の募金」寄付	2022年4月	石川地区
2	ハマロード・サポーター活動	2022年5月	横浜本社
3	河北潟清掃活動	2022年6月	石川地区
4	PFUテクノイズ高松工場草刈	2022年6月	石川地区
5	ライトダウン実施	2022年7月	各事業所/拠点
6	かほく市海浜一斉清掃	2022年7月	石川地区
7	ハマロード・サポーター活動	2022年8月	横浜本社
8	ものづくりラボ	2022年9月	石川地区
9	河北潟清掃活動	2022年10月	石川地区
10	ハマロード・サポーター活動	2022年11月	横浜本社
11	ナンテンの苗木植樹	2022年12月	石川地区
12	グリーン電力証書掲示(チャリティコンサート)	2022年12月	石川地区
13	ハマロード・サポーター活動	2023年2月	横浜本社
14	河北潟防風林の植林活動	2023年3月	石川地区
15	リコグループ環境貢献活動調査	2023年3月	石川地区
16	社員食堂の地産食材使用	通年	石川地区
17	ペットボトルキャップ回収活動	通年	全国各拠点
18	使用済み割り箸回収活動	通年	東海オフィス
19	食品残さ肥料化への取組み	通年	石川地区
20	スポーツによる社会貢献	通年	石川地区、全国
21	地域教育への貢献	通年	石川地区

河北潟干拓地のボランティア活動

河北潟干拓地の景観や農業用施設機能の維持を目的とした除草や美化活動などのボランティア活動への参加に関する協定書を、河北潟干拓土地改良区及び河北潟沿岸土地改良区と民間企業第一号として2007年3月に締結しています。協定書に基づき、2022年度は河北潟干拓地の美化活動、防風林の植林活動に参加しました。



河北潟干拓地の美化活動

緑の募金寄付、ナンテンの苗木植樹

毎年「緑の募金」に寄付しており、寄付のお礼としていただく苗木を本社敷地内に植樹しています。緑の募金は、植樹、干ばつ等の森林整備や子供たちの森林環境教育、アフリカグリーンベルト造成事業などに役立てられています。



ナンテンの苗木植樹

かほく市海浜一斉清掃

石川地区では、2022年7月にかほく市が主催する海浜一斉清掃に参加しました。早朝から多くの住民の方と本社近くの白尾海岸で、プラスチック系の漂着物など多くのごみを回収しました。



かほく市海浜一斉清掃

事業所周辺の環境美化活動

横浜本社ではCSR活動および環境活動の一環として、横浜市主催のハマロード・サポーター活動を実施しました。2022年度は横浜本社周辺道路の美化・清掃等に計4回参加しました。



ハマロード・サポーター活動

食品残さリサイクルへの取組み

食堂残さを地域広域でのリサイクル(社外業者に委託して堆肥化)により、資源の有効活用への取り組みを継続しています。



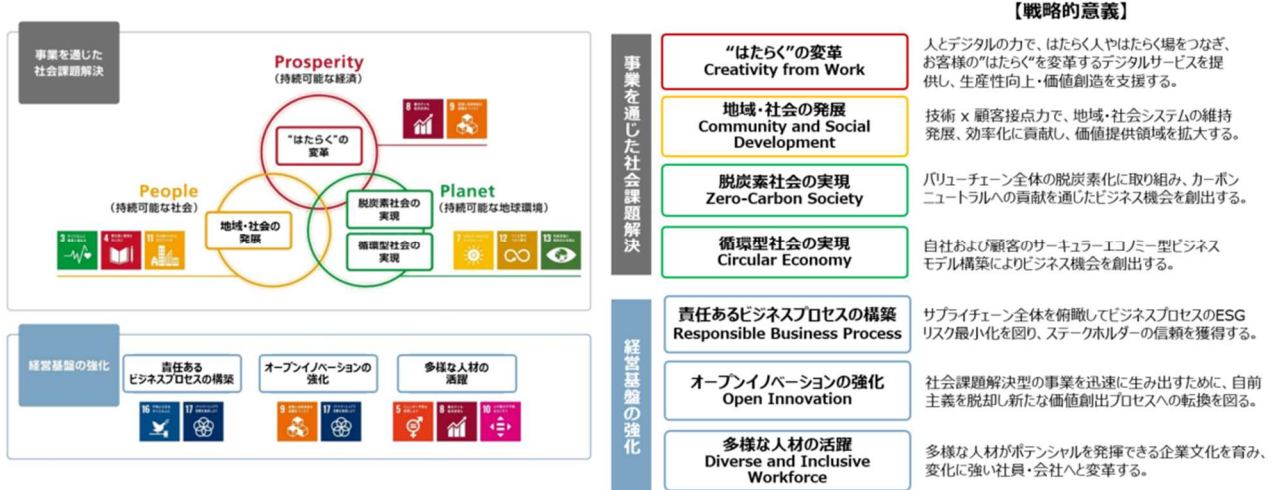
食品残さリサイクル

2023 年度から 2025 年度の活動計画

リコーグループでは、「事業を通じた社会課題解決」とそれを支える「経営基盤の強化」の 2 つの領域で 7 つのマテリアリティを特定するとともに、各マテリアリティに紐づく ESG 目標を設定しています。

PFU ではリコーグループ ESG 目標と整合した ESG 目標を設定し、第 10 次環境行動計画(2022 年度～2024 年度)を PFU ESG 目標(2023 年度～2025 年度)へ移行いたしました。

7 つのマテリアリティと SDGs



PFU ESG 目標

マテリアリティ	ESG 指標	2023 年度	2024 年度	2025 年度		
事業を通じた社会課題解決	“はたらく”の変革	高い付加価値でお客様の業務効率化に貢献するハイエンドスキャナの販売台数 (fi シリーズ：グローバル販売台数)	433,000 台	442,000 台	448,000 台	
	脱炭素社会の実現	GHG スコープ 1,2 削減率	5,947t-CO2	5,332t-CO2	4,697t-CO2	
		GHG スコープ 3 削減率	国際エネルギースタープログラム Ver3.X 適合	100%	100%	100%
			米国 EPEAT 取得対応	100%	100%	100%
			製品環境性能指数	組込みコンピューティング製品	4.39 以下	4.30 以下
		情報 KIOSK 端末		14.44 以下	11.33 以下	10.46 以下
		ネットワークアライアンス製品		0.546 以下	0.546 以下	0.546 以下
		セキュリティ製品		0.256 以下	0.256 以下	0.256 以下
		製品導入による顧客先環境貢献量	組込みコンピューティング製品	7,956t-CO2	8,115t-CO2	8,277t-CO2
			情報 KIOSK 端末	1,628t-CO2	1,164t-CO2	762t-CO2
			ネットワークアライアンス製品	277t-CO2	226t-CO2	190t-CO2
			セキュリティ製品	648.4t-CO2	657.8t-CO2	649.6t-CO2
		環境配慮ソリューションによる顧客先環境貢献	ドキュメント	724.6t-CO2	773.5t-CO2	839.3t-CO2
			ソリューション	3,960t-CO2	4,023t-CO2	4,109t-CO2

「事業を通じた社会課題解決」の領域のマテリアリティ「循環型社会の実現」、「経営基盤の強化」の領域のマテリアリティ「責任あるビジネスプロセスの構築」「多様な人材の活躍」に係る ESG 目標は、2023 年度中に設定予定。